

平成19年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 福井 政文
(コード2388 大証ヘラクレスG)
問合せ先 取締役管理部長 竹村 卓郎
(TEL. 03-5217-0723)

特別損失の発生、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上する見込みとともに、平成18年11月17日付当社「平成18年9月期決算短信（連結）及び個別財務諸表の概要」にて公表いたしました平成19年9月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1 特別損失の発生及びその内容

(1) 連結（通期）

- ・ 当社グループでは、コンテンツに特化した総合エンタテインメント企業として、コンテンツによる中長期的なライセンス収益を得るために前期から当期にかけてコンテンツ出資を行いました。しかしながら、ライセンス収益が当初の見込みに達せず、その結果としてコンテンツ資産の評価減を計上することとなりました。又、今後収益獲得が見込めない固定資産について、減損処理を実施いたします。これらの評価減や減損処理の計上により、特別損失が約330百万円発生いたします。

(2) 個別（通期）

- ・ 連結と同様にコンテンツ資産の評価減を約241百万円計上すること、及び当社の子会社のうち債務超過に陥った会社について各社の事業展開における回収可能性を精査した結果、関係会社株式評価損が約246百万円、関係会社貸倒引当金繰入が約134百万円等により、660百万円の特別損失を計上いたします。

2 平成19年9月期連結業績予想数値の修正（平成18年10月1日 ～ 平成19年9月30日） (単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,300	33	33	21	512.26
今 回 修 正 予 想 (B)	2,593	△265	△273	△525	△12,744.12
増 減 額 (B-A)	△707	△298	△306	△546	—
増 減 率 (%)	△21.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成18年9月期)	3,277	96	92	△717	△17,935.07

3 平成19年9月期個別業績予想数値の修正（平成18年10月1日～平成19年9月30日）
（単位：百万円，%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	700	10	10	6	146.36
今回修正予想(B)	672	5	25	△611	△14,830.31
増減額(B-A)	△28	△5	15	△617	—
増減率(%)	△4.0	△50.0	150.0	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年9月期)	184	19	14	△9	△225.85

4 修正の理由

平成19年9月期の連結業績予想につきましては、売上高は前回発表を大幅に下回る2,593百万円を見込んでおります。これは主に、コンテンツ事業において当初見込んでいたライセンス収益を確保できなかったこと、物販事業で売上増加を期待していた商品が消費者の嗜好に合わず大量に売れ残ったこと等によります。この売上高の大幅な減少に伴い、固定費を吸収するための粗利益を確保できず、営業利益が△265百万円（損失）、経常利益が△273百万円（損失）と赤字となる見込みです。当期純利益は、特別損失の発生等により△525百万円（損失）を見込んでおります。

平成19年9月期の個別業績予想につきましては、売上高は前回発表を若干下回る672百万円を見込んでおります。営業利益は販売費及び一般管理費の増加に伴い、前回発表を下回る5百万円に留まる見込みで、経常利益は前回発表を上回る25百万円を見込んでおります。当期純利益は、特別損失の発生等により、前回発表を大幅に下回る△611百万円（損失）を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表時に入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成19年9月期の業績予想の修正見通しを真摯に受け、抜本的な組織体制の見直しを図り、管理体制を強化してまいります。現在、筆頭株主で大株主となった明日香野ホールディングス株式会社の親会社であるA.P.F.Holdingsグループからの役員の派遣や経営指導について協議している最中です。又、今後の事業計画を策定しており、できあがり次第、ご報告させていただきます。

5 平成19年9月期配当予想の修正（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

	中間期	期末	年間
前回予想(平成18年11月17日)	—円	250円	250円
今回修正予想	—円	—円	—円
(ご参考)前期の1株当たり配当金実績	—円	—円	—円

6 配当予想修正の理由

業績予想の修正のとおり、当期におきまして多額の純損失を計上し、配当原資である利益剰余金がマイナスとなる見込みです。このため、配当可能利益がなくなるため、配当を実施することができない予定です。

以上